

採点欄	
第1問	

第 114 回簿記検定試験模範解答

2 級 ①

商業簿記

受験番号

氏名

生年月日 昭・平 . .

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	16,000,000	資本金	8,000,000
	新株発行費	300,000	資本準備金	8,000,000
			現金	300,000
2	現金	20,000	貸倒損失	20,000
3	買掛金	400,000	仕入	40,000
			当座預金	360,000
4	未収金	1,000,000	火災未決算	2,300,000
	火災損失	1,300,000		
5	売掛金	480,000	受取手数料	57,600
			受託販売	422,400

受験番号

氏名

生年月日 昭・平 . . .

第 114 回簿記検定試験模範解答

2 級 ②

商業簿記

採点欄	
第2問	

第2問 (16点)

(a)	(b)	(c)	(d)
¥ 126,000	¥ 698,000	¥ 26,000	¥ 261,000
(e)	(f)	(g)	(h)
¥ 698,000	¥ 2,339,000	¥ 509,000	¥ 1,392,000

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 昭・平 _____

第 114 回簿記検定試験模範解答

2 級 ③

商業簿記

採点欄	
第3問	

第3問 (24点)

精 算 表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	127,800			18,000			109,800	
当座預金	329,000		58,000	72,000			362,000	
			47,000					
受取手形	360,000						360,000	
売掛金	348,000			58,000			290,000	
売買目的有価証券	970,000			58,600			911,400	
繰越商品	280,000		312,000	280,000			285,200	
				13,000				
				13,800				
建物	3,000,000		700,000				3,700,000	
備品	900,000						900,000	
建設仮勘定	900,000			700,000			200,000	
満期保有目的債券	789,200		1,800				791,000	
長期貸付金	840,000						840,000	
支払手形		410,000	72,000					338,000
買掛金		400,000						400,000
未払金		20,000		47,000				67,000
貸倒引当金		21,000	8,000					13,000
商品保証引当金		51,000	18,000	117,400				117,400
			33,000					
建物減価償却累計額		720,000		93,500				813,500
備品減価償却累計額		576,000		64,800				640,800
資本金		5,500,000						5,500,000
利益準備金		130,000						130,000
任意積立金		110,000						110,000
売上		11,740,000				11,740,000		
受取手数料		80,000				80,000		
受取利息		28,000		14,000		42,000		
有価証券利息		12,000		1,800		13,800		
仕入	7,631,000		280,000	312,000	7,599,000			
給料	1,520,000				1,520,000			
支払地代	936,000				936,000			
広告宣伝費	423,000				423,000			
通信費	192,000		4,700		196,700			
保険料	174,000			58,000	116,000			
雑費	78,000				78,000			
	19,798,000	19,798,000						
貸倒引当金(戻入)				8,000		8,000		
棚卸減耗費			13,000		13,000			
商品評価損			13,800		13,800			
有価証券評価(損)			58,600		58,600			
減価償却費			158,300		158,300			
商品保証引当金(戻入)				33,000		33,000		
商品保証引当金繰入			117,400		117,400			
(前払)保険料			58,000				58,000	
(未収)利息			14,000				14,000	
(未払)通信費				4,700				4,700
当期純(利益)					687,000			687,000
			1,967,600	1,967,600	11,916,800	11,916,800	8,821,400	8,821,400

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 昭・平 . . _____

第 114 回簿記検定試験模範解答

2 級 ④

工業簿記

採点欄	
第4問	
第5問	

第4問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	材 料	525,000	買 掛 金 材 料 副 費	500,000 25,000
(2)	材 料 副 費 差 異	5,000	材 料 副 費	5,000
(3)	仕 掛 品 費 製 造 間 接 費	160,000 788,000	賃 金 ・ 給 料	948,000
(4)	仕 掛 品	1,800,000	製 造 間 接 費	1,800,000
(5)	製造間接費配賦差異	100,000	製 造 間 接 費	100,000

第5問 (20点)

X社は(① 直接原価計算)方式の損益計算書を採用している。①方式の損益計算では、原価(製造原価、販売費および一般管理費)を(② 変動費)と(③ 固定費)とに分解し、売上高からまず②を差し引いて(④ 貢献利益)を計算し、④から③を差し引いて営業利益を計算する。この方式の損益計算書は、正規の損益計算書上で、短期利益計画に役立つ原価・営業量・利益の関係を明示している。

X社の来月の貢献利益率は(⑤ 40)%、損益分岐点販売量は(⑥ 17,500)台である。損益分岐点の営業量と予定または実際の営業量との差を安全余裕度というが、X社の来月の安全余裕度は販売量でいえば(⑦ 17,500)台である。

X社の来月の売上高営業利益率は(⑧ 20)%である。売上高営業利益率26%の営業利益をあげる売上高は(⑨ 100)億円であり、そのときの④は(⑩ 40)億円である。